

赤十字 きょうと VOL 02

〒605-0941 京都市東山区三十三間堂廻り町644
TEL 075-541-9326 FAX 075-541-1361



苦しんでいる人を救いたい。
その気持ちで私たちがつないでいる。
赤十字を支えている。

社員19名 募集対象

命を救う、力を合わせよう。

5月は赤十字運動月間

日本赤十字社は、5月1日から「赤十字運動月間」として全国キャンペーンを実施します。

月間中は、広く赤十字思想の普及と活動紹介等に努めるとともに、活動資金のご協力と「赤十字社員」の拡大をお願いしています。

赤十字の活動を資金で支える「社員」にご加入をお願いします。

社員とは？

赤十字社の人道的な活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力をしていただく方のことです。日本赤十字社は、皆様から託されたこの資金で運営している団体です。



高円宮妃殿下にお礼の言葉を述べられる山田支部長(京都府知事)

平成21年11月25日、京都テルサ(京都市南区)で名誉副総裁高円宮妃久子殿下をお迎えし、支部創立120周年記念京都府赤十字大会が開催され、受章者をはじめ府内の赤十字関係者約700名が参加しました。

妃殿下は、「赤十字運動に参加する人々の輪がさらに広がっていくことを心より願っております。」とお言葉を述べられました。

赤十字運動月間キャンペーン



啓発物を配布する山田支部長(京都府知事)

5月10日に京都駅前の地下街ボルタプラザで支部創立120周年を記念した「ひろげよう赤十字の輪(和)」を開催しました。



啓発物を配布する佐々木南丹市地区長(南丹市長)

5月8日にJR園部駅で、通勤・通学の乗降客に有功会南丹市地区支会や支部・地区関係者が啓発物を配布しました。

京都市 各区ふれあいまつり



北区 骨密度を測定する門川支部顧問(京都市長) 6/7

京都市内の各区ふれあいまつりに赤十字コーナーを設け、赤十字地域奉仕団と支部で啓発物の配布等を行いました。

+ 今年参加した主なふれあいまつり

- 5月 東山区民ふれあいまつり
- 6月 北区春まつり
- 10月 中京区民ふれあいまつり
- 上京区ふれあいまつり
- 11月 南区民ふれあいまつり
- 下京ふれ愛ひろば



上京区 けんけつちゃんと一緒に記念撮影 10/31



中京区 赤十字事業パネルを説明する赤十字奉仕団 10/25



下京区 救急車乗車体験コーナーで写真撮影 11/22

新型インフルエンザの対応

平成21年4月にメキシコから世界的に大流行した新型インフルエンザに対し、5月から「新型インフルエンザ対策本部」を設置するとともに管内の赤十字病院では「発熱外来」を開設し、12月にかけて次のとおり対応しました。

京都第一赤十字病院

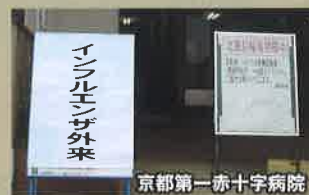
入院	95人
外来	1,539人

京都第二赤十字病院

入院	55人
外来	1,077人

舞鶴赤十字病院

入院	7人
外来	868人



京都第一赤十字病院



京都第三赤十字病院



災害救護活動



被災した家屋

兵庫県台風9号災害(佐用町水害)に救護班を派遣

8月9日から10日未明に災害が発生。8月14日～15日に京都府支部では、京都第二赤十字病院の救護班、特殊救護要員(ボランティア)、支部職員、総勢11名からなるチームを現地に派遣し、救護所での診療活動、巡回診療、こころのケア活動を行いました。



活動方針を相談する救護班員

東海地方で発生した地震に先遣隊として災害対策本部要員を派遣

8月11日早朝に起きた駿河湾沖を震源とする震度6強の地震に対し、京都府支部の防災業務計画に基づき救護員(災害対策本部要員)2名を緊急派遣しました。



浜松赤十字病院での打ち合わせ



各支部から集結した救護車両

+ 今年参加した主な防災訓練

- 京都市総合防災訓練(9/1)
- 京都府総合防災訓練(9/5)
- 福知山市地域防災訓練(9/6)
- 宇治市防災訓練(9/13)
- 城陽市防災訓練(1/17)
- 長岡京市防災訓練(1/17)



巡回診療に向かう京都の救護班



救護所での活動

京都府総合防災訓練

京都市総合防災訓練

青少年赤十字トレーニング・センター(リーダー養成研修)



開会式(スタッフ紹介)

朝のつどい(クラス対抗ゲーム)

フィールドワーク(関所ポイント)

トレセンまとめ(活動計画書作成)

8月6日から8日までの2泊3日(高校生は、9日までの3泊4日)、宇治市総合野外センター「アクトパル宇治」で、平成21年度京都府青少年赤十字トレーニング・センターを実施し、京都府内の70校(小50校、中12校、高8校)から108名(小78名、中20名、高10名)が参加しました。

地域防災セミナー

地域の防災意識を高め、赤十字の救護活動を知ってもらう目的で、地域防災セミナーを開催しました。



八幡市 ふろしきでリュックサックをつくる 2/7



宮津市 毛布でガウンをつくる 2/24

有功会の活動

京都府支部有功会は、赤十字の行う人道的な諸事業に賛同し、金色有功章(50万円以上の寄付者に対する表彰)を日本赤十字社から贈られた方々が赤十字活動を支援していこうと、昭和37年に全国で3番目の有功会として結成されました。



有功会チャリティーゴルフ 5/20



有功会総会 10/9



女性部小児科病棟入院児童激励 12/25

京都府支部管内施設の概況(平成21年度)

区分	京都第一赤十字病院	京都第二赤十字病院	舞鶴赤十字病院
稼働病床数	664	639	198
入院	年間延べ患者数	206,134	210,146
	一日平均患者数	565	575
外来	年間延べ患者数	361,883	402,566
	一日平均患者数	1,502	1,670

京都府赤十字血液センター		
献血状況(人)	400mL	76,494
	200mL	1,189
	血漿成分献血	19,079
	血小板成分採血	17,799
	合計	114,561



京都第一赤十字病院



京都第二赤十字病院



舞鶴赤十字病院



京都府赤十字血液センター

ハイチ大地震救助活動

2010年1月12日に発生したハイチ大地震には、日本赤十字社から医療チームを派遣。1月17日から2月21日まで派遣の第1班は、1日100人前後の計1,721人の患者を診療しました。



倒壊した家屋



救護車両を空輸



救護活動する日赤医療チーム

チリ大地震救護活動

2010年2月27日に発生したチリ大地震には、日本赤十字社から医療チームを派遣、基礎保健ERU(緊急対応ユニット)を設置し、被災者の救援に当たっています。



倒壊した病院



上水、トイレ、シャワーを組み立てる医療チーム



設置した基礎保健ERU

赤十字基本原則



1965年にウィーンで開催された第20回赤十字国際会議で「赤十字基本原則」が決議され、宣言されました。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動の中から生まれ、形作られたものです。「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない」という願いから生まれた「人道」こそが赤十字の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものです。



人道の原則

赤十字はあらゆる状況において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力(実現)する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。



公平の原則

赤十字は国籍・人種・宗教・社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別もしない。



中立の原則

赤十字はいかなる場合にも政治的・人種的・宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。



独立の原則

赤十字は各国政府は常に赤十字の諸原則にしたがって行動できるようにその自主性を保たねばならない。



奉仕の原則

赤十字は利益を求めない奉仕的救護団体である。



単一の原則

赤十字はいかなる国にもただ一つの赤十字社しかありえない。



世界性の原則

赤十字は世界的機構である。

イラクでの国際医療活動

日本赤十字社は、赤十字国際委員会の要請を受け、平成21年7月10日から平成22年4月4日まで、イラク共和国に京都府支部から救急医療を担う医師・看護師を育てる支援事業のため、京都第二赤十字病院 小川里美看護師長を派遣しました。

■イラクの看護師から学んだ「人道」

長年の戦禍でイラクの病院は悲惨な状況が続いていました。医療資材は不足し、給料もまともに支払われない。「生活ができない」と多くの医師・看護師が病院を去りました。いま、病院で働いているスタッフは、そんな状況下で医療を守った人たちです。

これは勇気あるすごい行為です。私は生活の保障があって赤十字の活動に従事していますが、彼らは違う。なぜそんな頑張れたのかという質問に、ある看護師の方は「患者を見捨てるわけにはいかない」「私たちに頼ってくる人がいる」と答えてくれました。

こうした彼らの行動こそが「人道」なんだと、私は心から感動しました。研修で教える立場の私たちですが、医療・看護の倫理や責任について彼らから多くを学んでいます。

イラクはいまさまざまな問題を抱えています。ですから、彼らが研修で学んだ救急医療の知識や技術がすぐに各病院にフィードバックされて、全体の水準が劇的に変わることはないかもしれません。しかし、研修事業の成果は、必ず人から人へとつながっていくはずで、私たち赤十字はそれをサポートしたい。時間はかかっても必ずその成果は結実すると思っています。

砂漠にまいた種にいつか芽が出て。緑の大地に変わっていくことを信じています。

(一時帰国報告:赤十字国際ニュースから)



真剣な受講者たち。医師、看護師が自由に意見を交わし学びます。

■府内赤十字施設のご案内

日本赤十字社 京都府支部 ☎(075)541-9326
京都市東山区三十三間堂廻り町644 FAX(075)541-1361

京都第一赤十字病院 ☎(075)561-1121
京都市東山区本町15-749 FAX(075)561-6308

京都第二赤十字病院 ☎(075)231-5171
京都市上京区釜座通丸太町上る FAX(075)256-3451

舞鶴赤十字病院 ☎(0773)75-4175
舞鶴市字倉谷427 FAX(0773)76-3724

京都府赤十字血液センター ☎(075)531-0111
京都市東山区三十三間堂廻り町644 FAX(075)541-9485

京都府福知山赤十字血液センター ☎(0773)27-6630
福知山市長田野町1-31-1 FAX(0773)27-6723

献血ルーム四条 ☎(075)365-0388
京都市下京区四条寺町下ル 岡本鏡店3F FAX(075)365-0277

献血ルーム京都駅前 ☎(075)361-9333
京都市下京区烏丸通七条下ル 京阪京都ビル6F FAX(075)361-9320

献血ルーム伏見大手筋 ☎(075)603-1350
京都市伏見区東大手町756 桃山SKビル2F FAX(075)603-1351

日本赤十字社ホームページ
<http://www.redcross-kyoto.jp/>



【QRコード】からアクセス

日本赤十字社血液管理センター ☎(0773)27-9501
福知山市長田野町1-31-1 FAX(0773)27-9601